

日本共産党
流山東部
後援会

ニュースわかば

部内資料
発行責任者
竹内和男

Tel・fax: 7143-3086

消費税増税 みなさんに聞きました

パン屋さん 「10%
になったら売りにくく
なる。店をやめるかも」

「大手からのパンや菓子類には、すでに売り値に消費税が含まれている。ただし、子どもさんが買うような10円とか低価格のものにはかけられないこともある。10%に消費税率が上がったら、売りにくいと思う。店を続けるかどうか考えている。」

消費税をかけた売れなかつた分については、こちら持ち出しになるけど、年間でなんとか商いをしているところ」

自転車屋さん
「価格に転嫁
できない」

「メーカーは10%を

かけてくるが、我々が売るときには掛けられない。地域の商店はみんなつぶれてしまう。経済がダメになり、サラリーマンも給料が減る。人ごとではないはずだ」



自転車屋さん
「今でも大変。何とか
なるのか」

「消費税増税？いやだと思っても何とかなるのか。卸には10%がかかってきても店では掛けられない。前は夫婦で店

をやっていたけど客が少なくなってきた。働きに行っている。自分一人です」

文房具屋さん
「生活が大変になる…。
今でも身銭を切っている」

「もう何年も前から苦しいときは私たちの給料を削ってきました。従業員には払うものは払わないといけませんから政治家は自分たちのことばかり。福島の人のこととか、もつとちゃんとやってほしいと思います」

床屋さん
「お客さんも大変、少し
でも下げていかないと…」

「消費税は仕入にはついていないけど、料金としてはもらえないでしょう。だって、お客さんの年金が下がる通知がきているでしょう、少しでも料金を下げていかなければと思っ

消費税増税法案 中央公聴会 批判続出

- ・景気を非常に悪くし生活悪化を招く
- ・経済が縮小し、税収が減る
- ・消費税増税をしても国の収入は増えない
- ・消費税を価格に転嫁できない
- ・滞納が増え、廃業が増加する
- ・法人税増税を求める
- ・欧州で緊縮財政は否定されている中、日本で増税政策をとるべきではない

バブル崩壊以来の20年間、若者や女性は雇用・労働環境をめぐって本心にひびき目にあい、何の展望も未来も見えないという状況におかれています。暮らしをめぐって不安でたまらない人が少なくありません。

橋下「維新の会」に期待できるでしょうか

「成績の悪い学校が統廃合されたら子どもはどこにいけばいいのか」を考えれば、子どもも大人も得もないし、むしろいやな思いだけが残るのではないのでしょうか。なぜ、橋下「維新の会」は、公務員や教職員を非難して条例で縛ろうとするのでしょうか。なぜ、憲法違反の「思想調査」をするのでしょうか。調査をすれば「何も決められない政治を変えるには、独裁といわれるくらい力が必要」といっていいますが本当でしょうか。公務員や教師、あるいは生活保護者へのパッシング憎しみを煽るような言葉で、国民を分断するやり方は、小泉

純一郎的政治手法と橋下徹政治手法には共通点があるのではないでしょうか。人々のごく身近にいて選挙で選ばれたわけでもない教師、公務員が、不当にいい思いをしていくのかのように描き出すイデオロギーがふりまかれれば、人々の怨嗟の思いは、容易にそこに引き寄せられるでしょう。それは、結果的に、人々の真実への「気づき」を阻害します。政治的支持を得るための情報操作という側面があります。

（わかば編集委員）

リストラ・失業、生活苦・生活保護、年金、所得税・住民税・国保料、介護サラ金・ローンのこと、行政への要望など困ったら……お電話をお待ちしています。緊急の方は、いつでも携帯へご連絡ください。

無料生活相談は日曜日 (午後1~3時)

日本共産党市議会議員
徳増きよ子事務所
生活相談室

電話/Fax: 7144-1753
携帯: 090-8342-3141
松ヶ丘2-330-144 (松ヶ丘郵便局前)

福祉・防災のまちづくりに全力

日本共産党流山市議員



徳増 きよ子

流山市の6月議会は6月7日から26日の14日間で開催されます。

1. 放射能対策について

- (1) 中学生以下の子どもがいる世帯及び一般世帯の除染基準について問う
- (2) 食品の新基準に対応できるゲルマニウム半導体検出器を、せめて東葛地域に設置するよう千葉県に要求すべきではないか
- (3) 流通食品など、現在実施していない放射性物質の検査体制について問う
- (4) 放射能汚染された農産物への補償をすべきではないか

2. 生活保護行政について

- (1) 生活保護運用の厳格化保護費のカットなどで、最後のセーフティネットである生活保護を破壊すると思うがどうか
- (2) 必要なのは、ケースワーカーを増やすことで、憲法25条に基づく生活保護行政を進めていくことであると思うがどうか

3. 交通安全対策について

- (1) 全国で悲惨な交通事故が起きている、とりわけ子どもの通学路の安全対策は喫緊の課題である。そこで、通学路を総点検し安全対策を急ぐべきではないか
- (2) 東小学校前通学路の対策について問う
- (3) 送迎保育バスの交通事故対策について問う

4. どの子にも行き届いた教育について

- (1) 特別支援学級を市内小中学校全校に設置すべきと考えるがどうか
- (2) 東小学校のプールの改修移転事業の促進について問う



東小学校と木の図書館入口付近

徳増きよ子議員の市政に関する質問は、6月15日午後行われました。質問内容は別表の通りです。



通学路の一部が狭くなっているところ

わか町大島

伊豆大島は東京から120km、高速ジェット船で1時間45分の波躍り光あふれる島です。

ところでご存知ですか？

昨年4月に大島に革新町長が誕生しました。(共産党員の町長)今年3月に町主催の大島町基本構想・後期基本計画について住民説明会が開かれました。出席して驚いたのは資料の文字がこんなに大きくとても見やすいこと。そして説明会がきめ細かい地域で行われるようになったことでした。

- 後期基本計画をつらぬく3つの取り組みとして
- 1 プラス1の取り組み
人口8600人のうち65歳以上の人が31.5%を占め、島の若者は仕事を求め大半が高校卒業と同時に島外へ出ます。人口並びに観光客の減少に歯止めをかけ、町民・議員・町(行政)の協働で1人2人と増やす中で、真の目標人口を確定していくこと。

2 『見える化』の取り組み

情報公開のこと。3.11東日本大震災以降、エネルギー問題が注目されています。大島では自然エネルギーの



3 『協働』の取り組み

町づくりを町民・議会・町(行政)の協働で行う。そして、今年予算を決める議会が3月に開かれ、積極的な予算が組まれ可決されました。

- ・「防災おおしま」家庭用受信機1000台設置、未設置のところや1人暮らしを優先し、2〜3年で全世帯を取り替える。
- ・「在宅酸素療法患者」の電気代負担軽減(月2000円)
- ・防災用備蓄食料購入費をはじめて計上(800万円)

今、大島は

介護保険料の大幅値上げや、これまでの町政が続けてきたマイナス面の処理や、その他多くの問題が山積しています。若者が島に戻り生まれ育ったこの島で、島のために働ける。お年寄りが安心して暮らせる。他の地域の人が移住を望む。観光客が訪れたいくなる。

そんな大島町を作るために動きだしています。

(松ヶ丘 横田記代)